

深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）検診の概要

主催 エコノミークラス症候群予防検診会（仮称 代表世話人 岩手医大 神経内科 寺山靖夫 教授、事務局統括リーダー 盛岡市立病院 診療部長 佐々木一裕）

1 目的 今回の震災で被災され、現在も避難所および仮設住宅に避難生活されているかたがたを対象に、血栓症のひとつである下肢深部静脈血栓症（Deep Venous Thrombosis 以下 DVT）が発症していないかどうか、検診を行うことを目的としています。2004 年の新潟・中越地震などで深部静脈血栓症に起因する肺塞栓症が多発したことから、旅行者血栓症は、災害時に発症しやすく、最近の研究では血栓が、仮設住宅へ移住後も 血栓症が発症しやすいことも報告されています。

今回の震災当初、陸前高田市の避難所における下肢の深部静脈血栓症の頻度は 10～30%と報告されており、肺塞栓症、脳梗塞など血栓症のハイリスクと考えられますので、超音波機器（エコー装置）による定期的な検診が重要と考えられます

2 検診チーム 検診医療班として医師、看護師、臨床検査技師など数名が 1 チームとして、各仮設住宅へ別れて検診を行います。今回も岩手医大、盛岡市立病院など盛岡市内の医療機関を中心に 3-4 チーム参加予定です。新潟県、青森県、宮城県、福井県など県外の医師、臨床検査技師、放射線技師も参加の予定です。

臨床検査技師	下肢静脈エコー等担当者	10 名
	血圧測定・酸素飽和度測定・D ダイマー測定	8 名
	弾性ストッキング説明配布	2 名を予定しています

3 実施（予定）日 平成 26 年 7 月以降で山田町、陸前高田、大船渡市と協議し、各集会の予約が取れた日

平成 26 年@月@@日

4 会場 仮設団地の集会所などを考えています

5 検診費用 無料

6 実施内容

検査対象 被災地域の住民 特に前回のエコー検査で血栓を指摘された方
高血圧、糖尿病など基礎疾患のあるかたなど

検査項目 問診（20-30 項目）

下肢静脈超音波（エコー）診断装置・・・非侵襲的な検査です
必要に応じて、ご承諾が得られれば 血栓亢進状態を示す D ダイマーや NTproBNP を採血します

結果の説明 ・ ・ 別紙で判定結果報告書をお渡しします

結果に応じて弾性ストッキングの配布や着用指導を行います

稀なことですが、早めに医療機関の受診が必要な方には、その場で紹介状を書きます

- 7 住民のかたへの周知 当医療班で各仮設住宅責任者にご説明にうかがう予定です
- 8 個人情報の管理 検診データの個人情報はすべて、診療録と同等に厳重に管理、保管します。血栓症（DVT など）の発症率など個人が特定されないデータを学会などで発表することがあります。
- 9 その他 平成 24 年 10 月から平成 26 年 6 月の検診はカタール国の援助によるカタールフレンドシップ検診を非営利団体難民を救う会（AARjapan）との共同活動で盛岡市立病院などが実施しましたが、この支援は 6 月で終了します。

岩手県エコノミークラス症候群予防検診

開催日	市町村
4月19日 20日	陸前高田市
5月10日	大槌町
5月11日	釜石市
5月31日	宮古市
6月1日	宮古市
6月15日	宮古市田老予定
6月21日 22日	大船渡市

田野畑村 現在調整中

10月13日 は山田町を予定し調整中